

土浦保健所管内感染症発生動向 2025 年第 41 週（10/6～10/12）

この情報は速報性を重視しています。後日、数値に若干の修正が生じることがあります。

1 全数把握の感染症

感染症法の分類		疾患名・報告数
一類	報告なし	
二類	結核	1 件
三類	報告なし	
四類	レジオネラ症	1 件
五類	後天性免疫不全症候群	1 件

2 定点把握の感染症

4 ページからのグラフをご覧ください。

3 発生動向のコメント

1）新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

41 週の 1 医療機関当たりの報告数は 7.33 と前週の 8.33 から減少しましたが、高齢者向け施設から集団発生の報告が続いているため、引き続き注意が必要です。

医療・介護従事者は、体調不良時は無理に出勤しない等、特に注意してください。

2）百日咳

流行が続いており、10 歳代の報告が目立っています。生後 6 か月以下の乳児が感染すると、重症化して死亡するおそれがあります。予防にはワクチンが重要です。百日咳のワクチンは生後 2 か月から接種対象です。生後 2 か月になったら速やかに定期接種のワクチンを接種しましょう。

[百日咳とは 厚生労働省ホームページへ](#)

3）流行性角結膜炎

41 週の 1 医療機関当たりの報告数は 6.00 と前週の 3.50 から増加しました。39 週から増加傾向が続いています。流行性角結膜炎は、アデノウイルスを病原体とする感染症で、主な感染経路は、ウイルスに汚染された手指や、タオルなどの共用物を介した接触感染です。

潜伏期間は 8～14 日程度で、症状としては、まぶたの浮腫や流涙などがあります。特に夏期に多く、発症は 5 歳以下の小児に多くみられますが、成人を含む幅広い年齢層から報告があります。予防するワクチンはなく、手洗いを徹底し、タオルや点眼液など目に触れるものは個人用とするといった接触予防策が有効です。

[流行性角結膜炎](#) [国立健康危機管理研究機構](#) [感染症情報提供サイトへ](#)

4 お知らせ

○季節性インフルエンザが流行中です

県内の第 41 週の 1 医療機関あたりのインフルエンザ患者報告数は 1.59 と前週の 2.07 から減少し、土浦保健所管内でも、第 41 週の 1 医療機関当たりの報告数は 2.17 と前週の 3.83 から減少しましたが、施設から集団発生の報告がありました。流行入りの目安とされる 1 を超え、第 39 週(2025 年 9 月 22 日～9 月 28 日)より、季節性インフルエンザが流行入りしました。県内の幼稚園・小中学校・高校等では学級閉鎖等の臨時休業措置が発生しています。

インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状もみられます。インフルエンザを予防する有効な方法として、流行前のワクチン接種、外出後の手洗い、こまめな換気等が挙げられます。日本では、例年 12 月～3 月が流行シーズンです。早めのワクチン接種をご検討ください。

[令和 6 年度インフルエンザ Q&A](#) [厚生労働省ホームページへ](#)

[インフルエンザワクチン（季節性）](#) [厚生労働省ホームページへ](#)

[茨城県のインフルエンザ流行情報・学級閉鎖等について](#) [茨城県ホームページへ](#)

○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者が県内で初めて確認されました

8 月 5 日、県内で初めて SFTS 患者の発生が確認されました。また、8 月 8 日に 2 例目の患者も確認されました。SFTS は、主に SFTS ウイルスを保有しているマダニに刺されることにより感染するダニ媒介感染症です。SFTS を発症している動物との接触により感染することもあります。潜伏期間は 6～14 日とされており、主な症状は、発熱や全身倦怠感、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）で、重症化し、死亡することもあります。

ダニ媒介感染症には、他にも、[つつが虫病](#)、[日本紅斑熱](#)等があります。畑や草むらなど、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボンを着用し、サンダルのような肌

を露出するものは履かないこと等、マダニに刺されないように予防しましょう。

[重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とは 厚生労働省ホームページへ](#)

[ダニ媒介感染症について 厚生労働省ホームページへ](#)

[「ダニ」にご注意ください（予防法、対処法等） 厚生労働省ホームページへ](#)

[マダニ対策、今できること 国立健康危機管理研究機構ホームページへ](#)

マダニ対策、今できること

1. マダニの生息場所
2. マダニから身を守る服装
3. マダニから身を守る方法
4. 忌避剤の効果
5. 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症
2) マダニ媒介SFTSとは
3) マダニの生活環

フタトゲチマダニ
タカサゴキララマダニ

朝岡 伸路 Illustrations
衛生昆虫写真館 Photos

出典：国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイトホームページ

かんせんしょうたいさく 感染症対策

感染症対策の基本は「手洗い」、マスクの着用を含む「咳エチケット」、「換気」です。

へのご協力をお願いします

てあら しゅししょうどく
手洗い・手指消毒

せき
咳エチケット

かん き
換気

帰省等で高齢の方と会ったり、大人数が集まったりする場合は、感染予防を心がけ体調を整えるようにしましょう。

厚生労働省

感染症対策課 2025年7月

お問い合わせ先

茨城県土浦保健所 保健指導課

☎ 029-821-5516

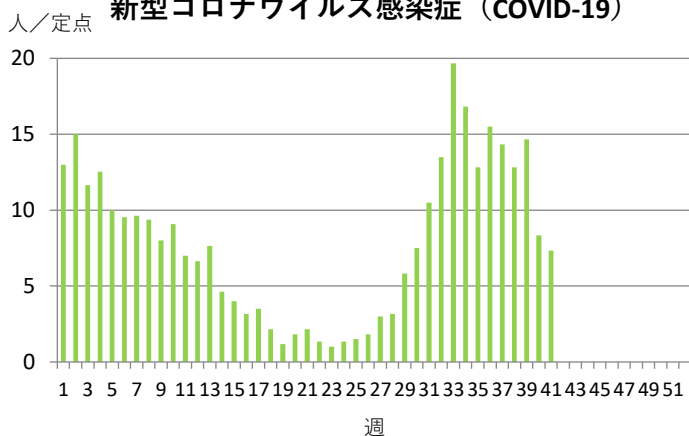
✉ tsuchiho05@pref.ibaraki.lg.jp

令和7年（2025年）第41週 土浦保健所 定点把握対象疾患定点当たり報告数

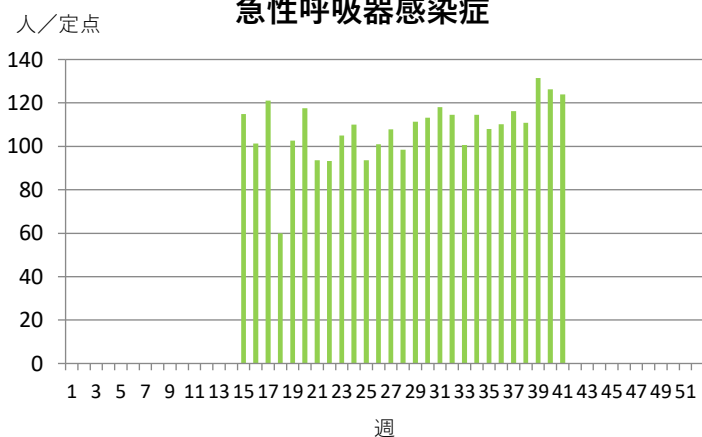
インフルエンザ



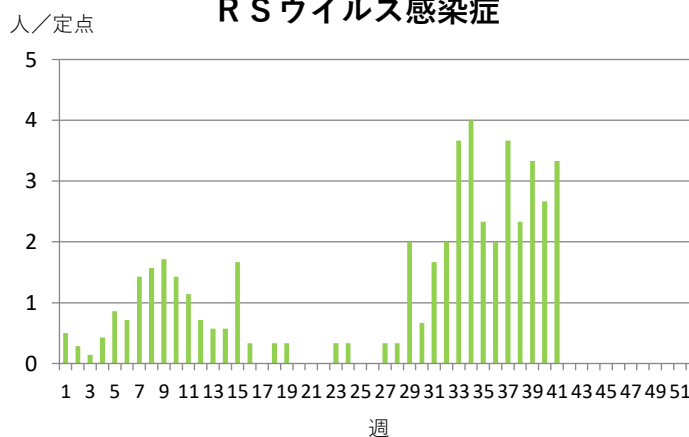
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）



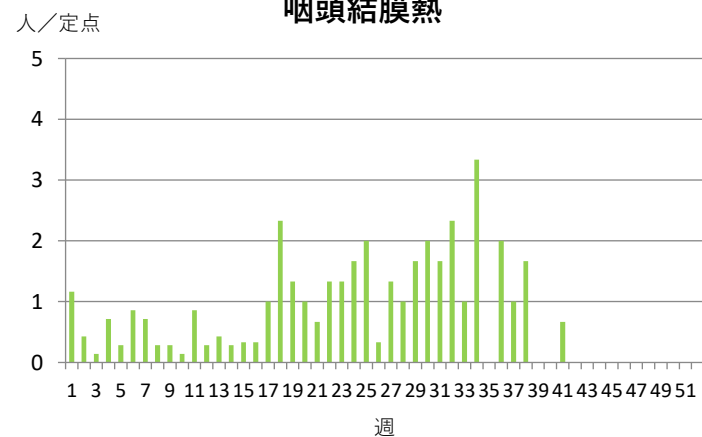
急性呼吸器感染症



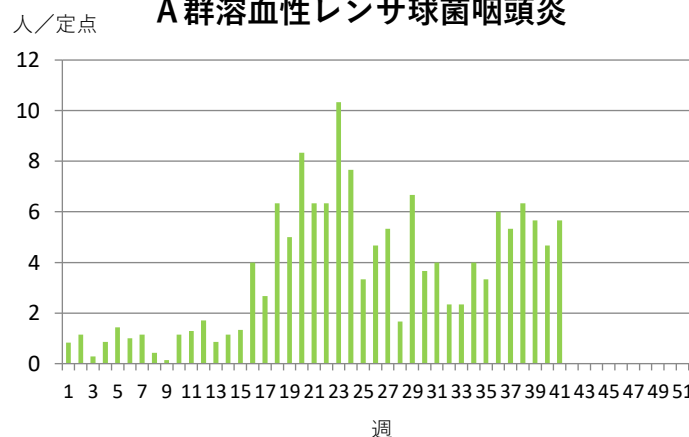
R S ウイルス感染症



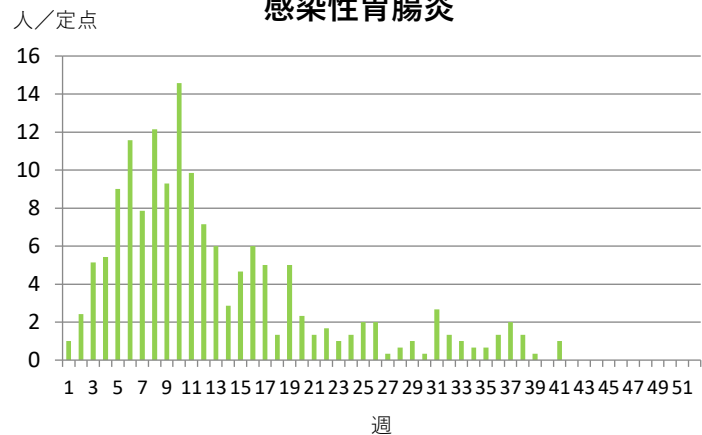
咽頭結膜熱



A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



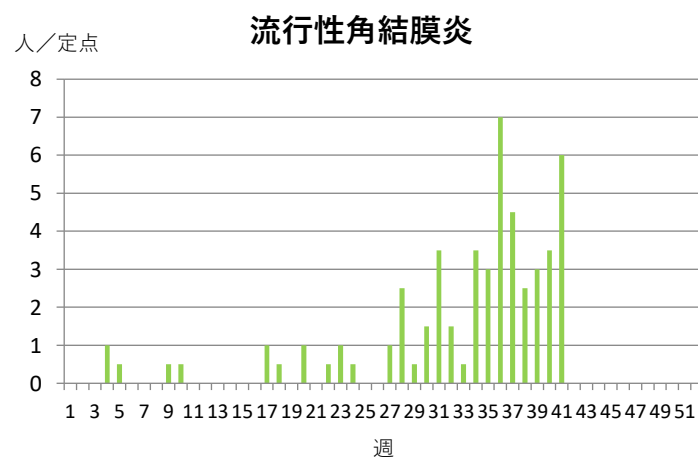
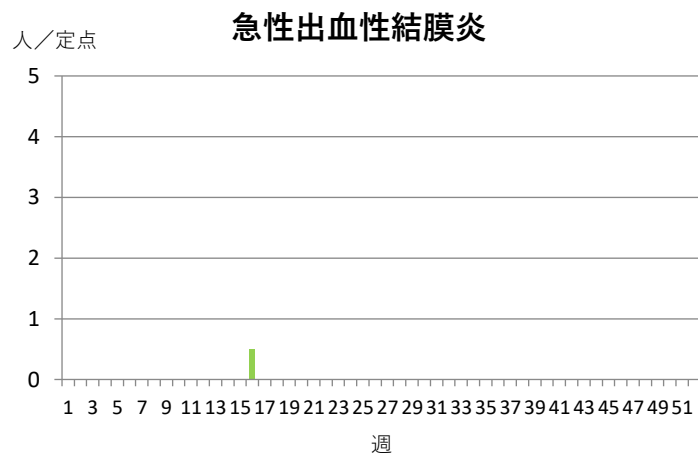
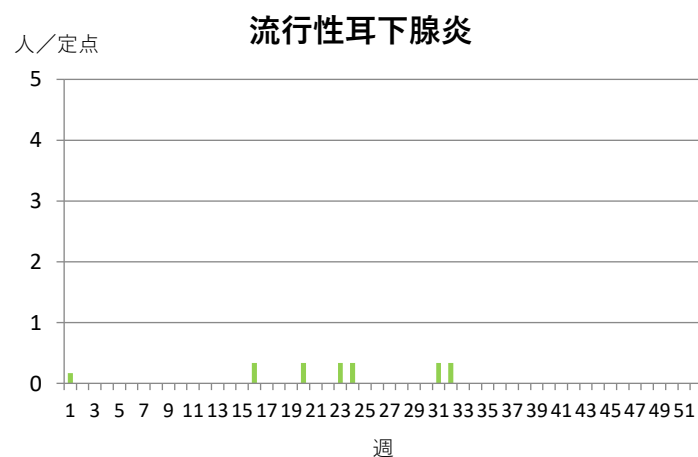
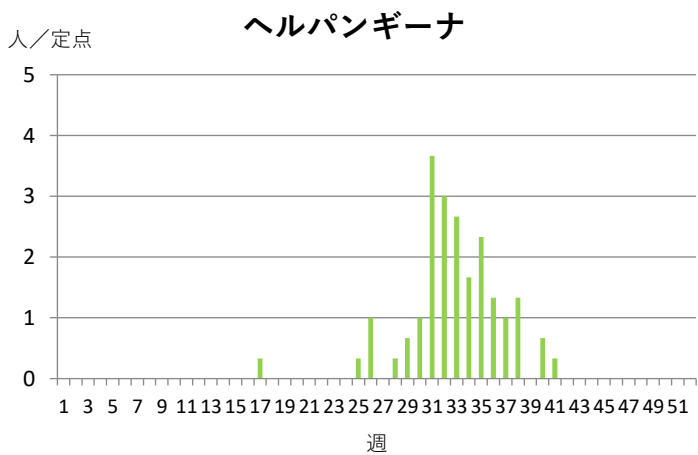
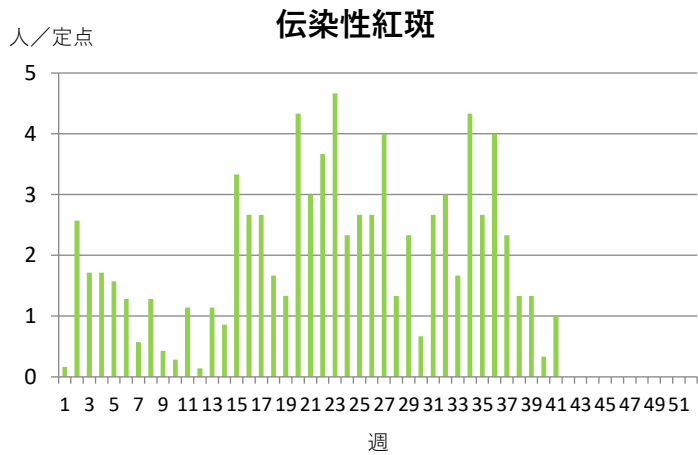
感染性胃腸炎



水痘



令和7年（2025年）第41週 土浦保健所 定点把握対象疾患定点当たり報告数



< 定点当たり報告数とは >

定点医療機関からの報告数を定点医療機関数で割り算した値です。言いかえると、1 医療機関当たりの平均報告数です。

< 茨城県の感染症発生状況 >

茨城県感染症情報センターホームページでご確認ください。

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/weekly/index.html>